

2005年3月期 決算説明会

平成17年5月19日

NTN株式会社

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

《本日のスケジュール》

I. 「飛躍21」初年度の進捗と今後の戦略

代表取締役社長 鈴木泰信

II. 2005年3月期決算と

2006年3月期見通し(連結)

常務取締役 近藤達生

III. 質疑

「飛躍21」初年度の進捗と 今後の戦略

平成17年5月19日

NTN株式会社

代表取締役社長 鈴木泰信

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- 目次 -

➤ 中期経営計画「飛躍21」について

1. 中期経営計画「飛躍21」3年間の概要
2. ロードマップと戦略マップ

➤ 「飛躍21」初年度の進捗と2006年3月期の見通し

1. 「飛躍21」初年度を終えて
2. 2006年3月期の見通し

➤ 企業価値向上と今後の持続的成長に向けて

1. 全体戦略
2. 部門別戦略(軸受)
3. 部門別戦略(等速ジョイント)
4. 部門別戦略(精密機器商品)
5. 中国戦略
6. 株主価値向上に向けて

(補足資料) 戦略商品の売上高見通し推移(等速ジョイント・アクスルベアリング・ニードルベアリング)

中期経営計画「飛躍21」について

1. 中期経営計画「飛躍21」3年間の概要

企業価値の向上

中期経営計画「飛躍21」(2004年4月～2007年3月)

2004年3月期
実績(連結)

売上高
3,574億円
営業利益
247億円
ROE
8.0%
ROA
2.4%

価値創造

販売: 営業革命
開発・設計・調達
: 設計が全てを決める
生産: 究極のもの造り
物流: 物流改革
研究・技術
: 市場変化への感性
人材活用
: 「ひと造り」の推進

営業利益の拡大

- ・戦略商品の販売拡大
- ・比例費低減
- ・生産性向上

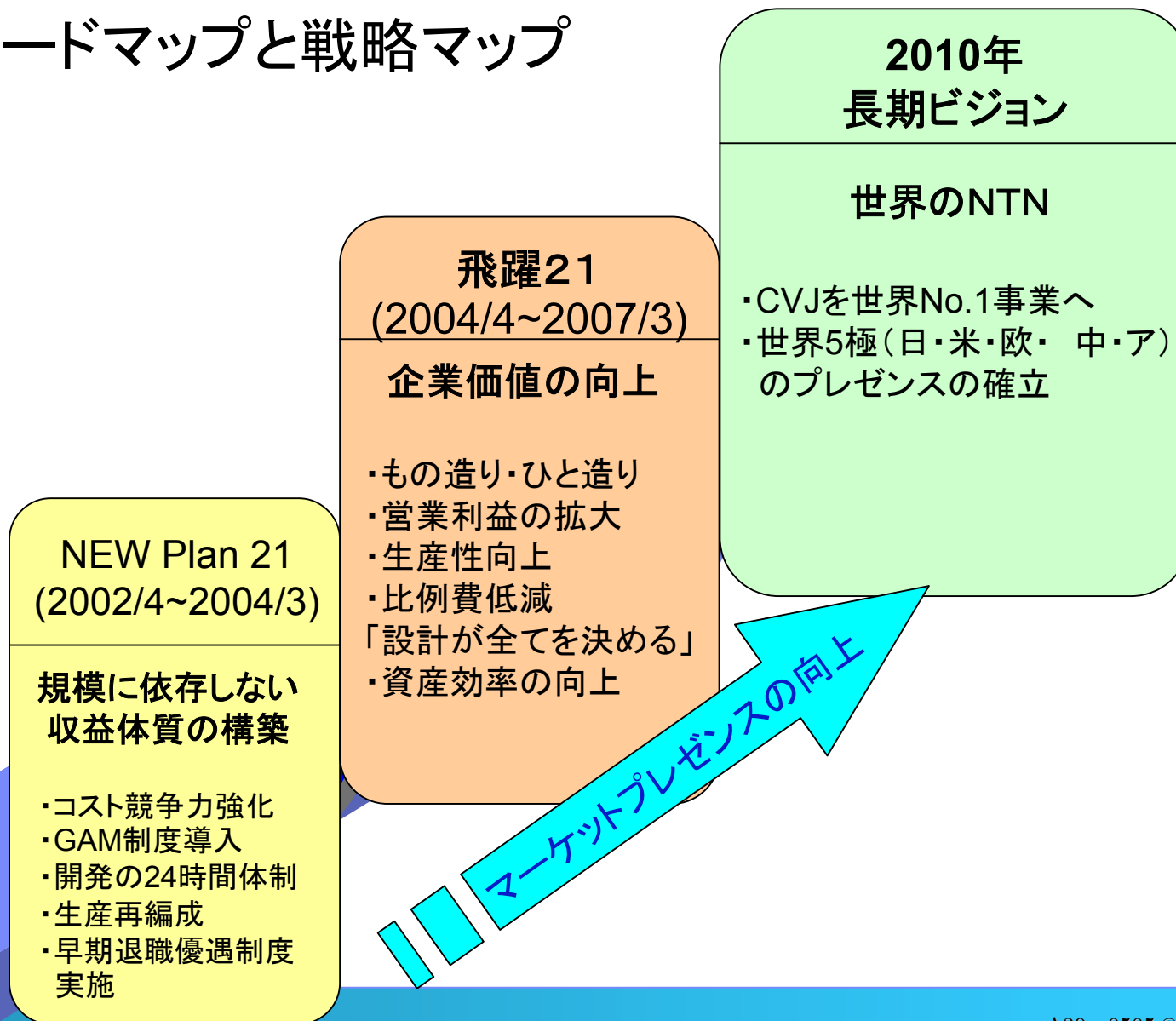
投資効率の向上

- ・ROE、ROAの向上
- ・棚卸資産
回転率の向上

2007年3月期
目標(連結)

売上高
4,500億円
営業利益
420億円
ROE
12%
ROA
4.2%

2. ロードマップと戦略マップ



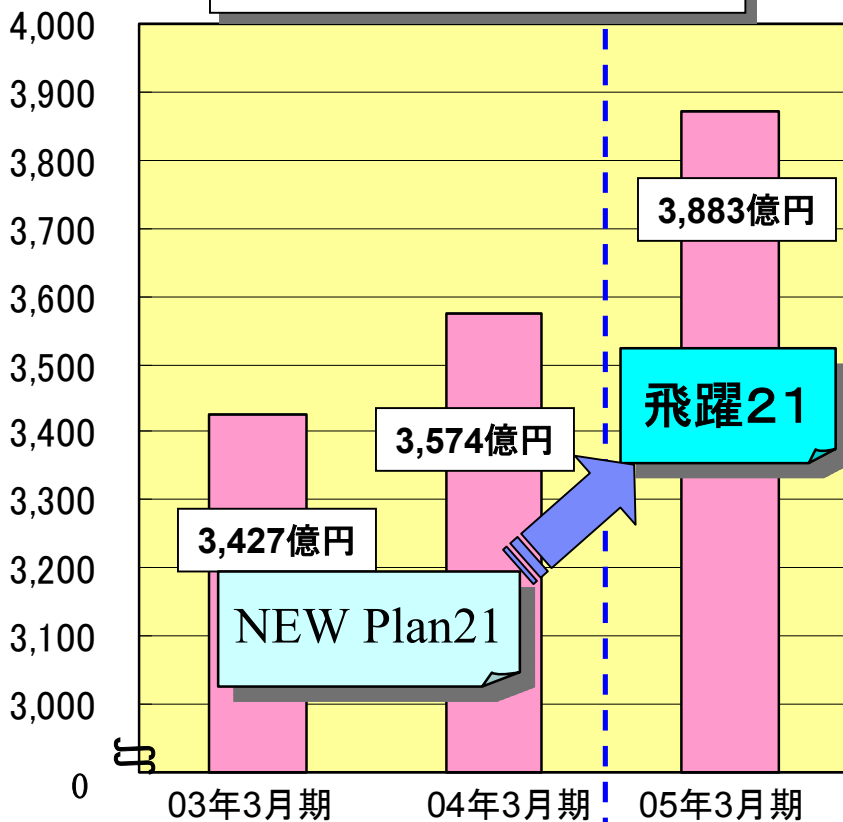
「飛躍21」初年度の進捗と2006年3月期の見通し

1. 「飛躍21」初年度を終えて

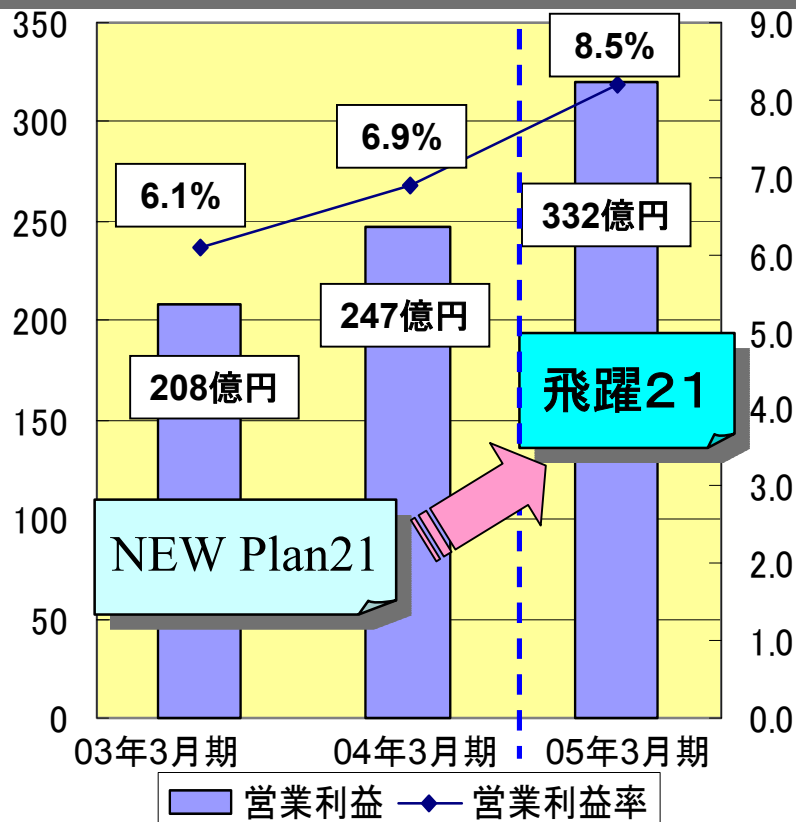
- ・3期連続増収増益
- ・2005年3月期過去最高益を更新

・当期配当 8.5円/株へ
 (前期5.5円/株)

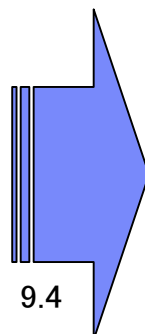
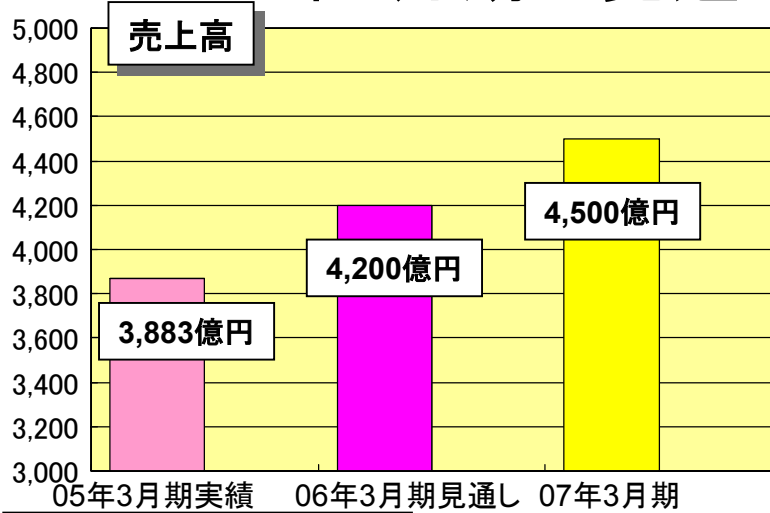
売上高実績(億円) 実勢レート



営業利益実績(%:営業利益率)(億円) 実勢レート



2. 2006年3月期の見通し



<経営環境の変化>

1) 鋼材価格の高騰

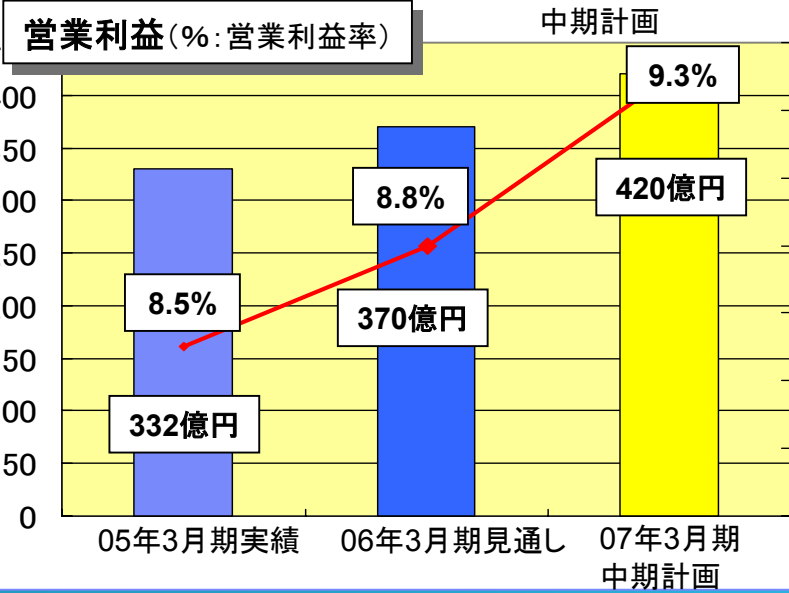
- ・製品価格への反映
- ・生産性向上
- ・比例費低減

2) 為替変動リスク

- ・現地調達率の向上
- ・最適地生産、需要地生産
- ・世界各地の素形材の活用

3) 米国経済の減速懸念

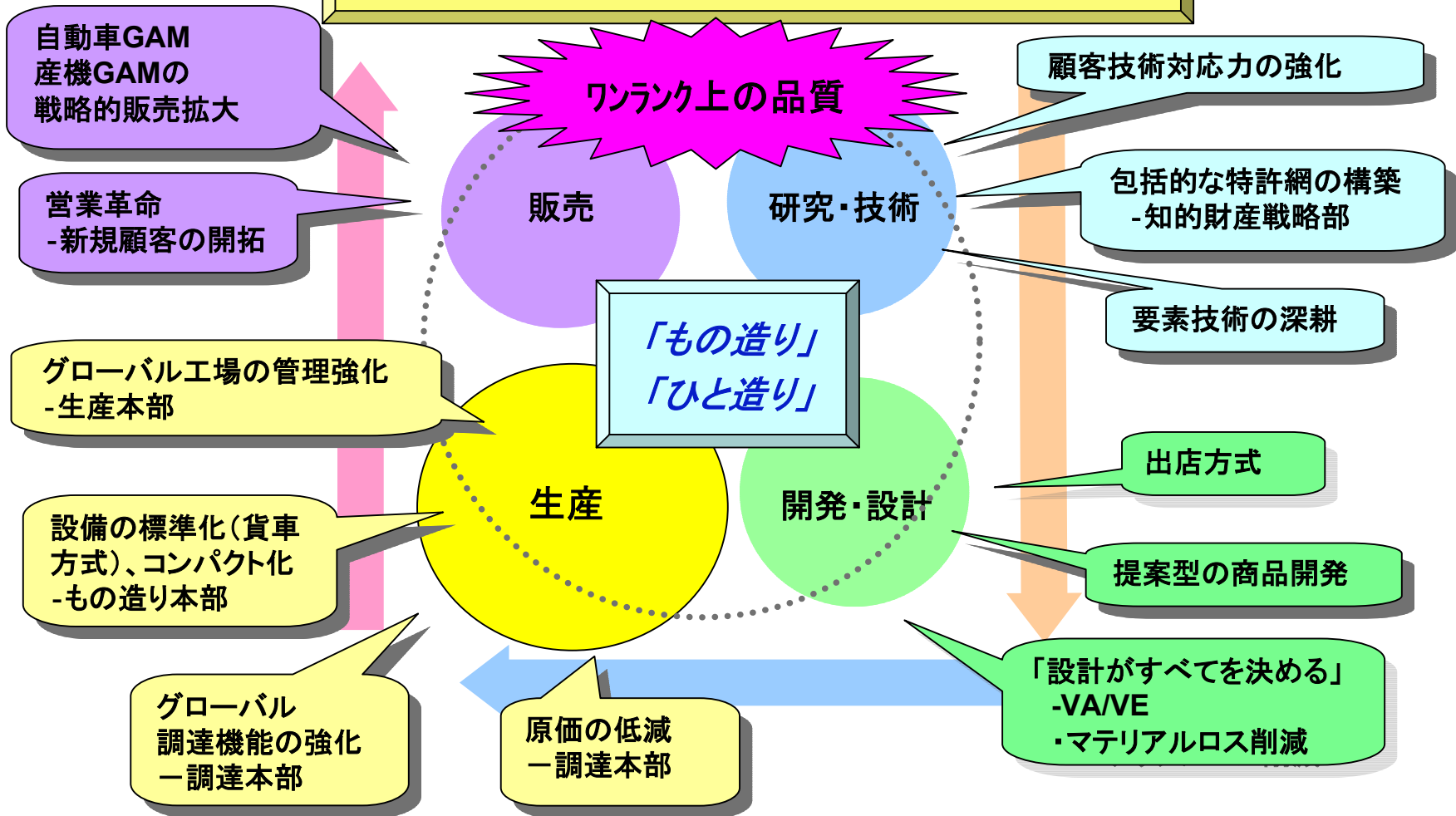
- ・産業機械向けの拡大
- ・自動車向け新規受注の獲得



企業価値向上と今後の持続的成長に向けて

1. 全体戦略

「飛躍21」達成に向けた企業価値向上活動



2. 部門別戦略(軸受)

要素技術の深耕とモジュール化
 による更なる開発

「設計が全てを決める」

提案型の商品開発

集中と選択の強化

自動車(アクスル、ニードル)

<アクスル>

- ・3世代の更なる海外展開
- ・4世代ハブジョイントの採用実現

<ニードル>

- ・ロッカーアーム用軸受による海外展開
- ・プレス加工品の開発と販売拡大

産機(大形、精密)

- ・軸受技術の根幹
- <新商品>
 - ・環境対応型工作機械用精密軸受
 - ・製鉄機械用耐食性向上軸受
- <拡販商品>
 - ・鉄道車両、風力発電、医療機器用軸受、大形軸受

IT(流体動圧軸受)

- ・売上目標100億円(07/3期)
- ・1インチ以下の需要の広がり
 (音楽プレーヤー、携帯電話等)

ロッカーアーム軸受



4世代ハブジョイント



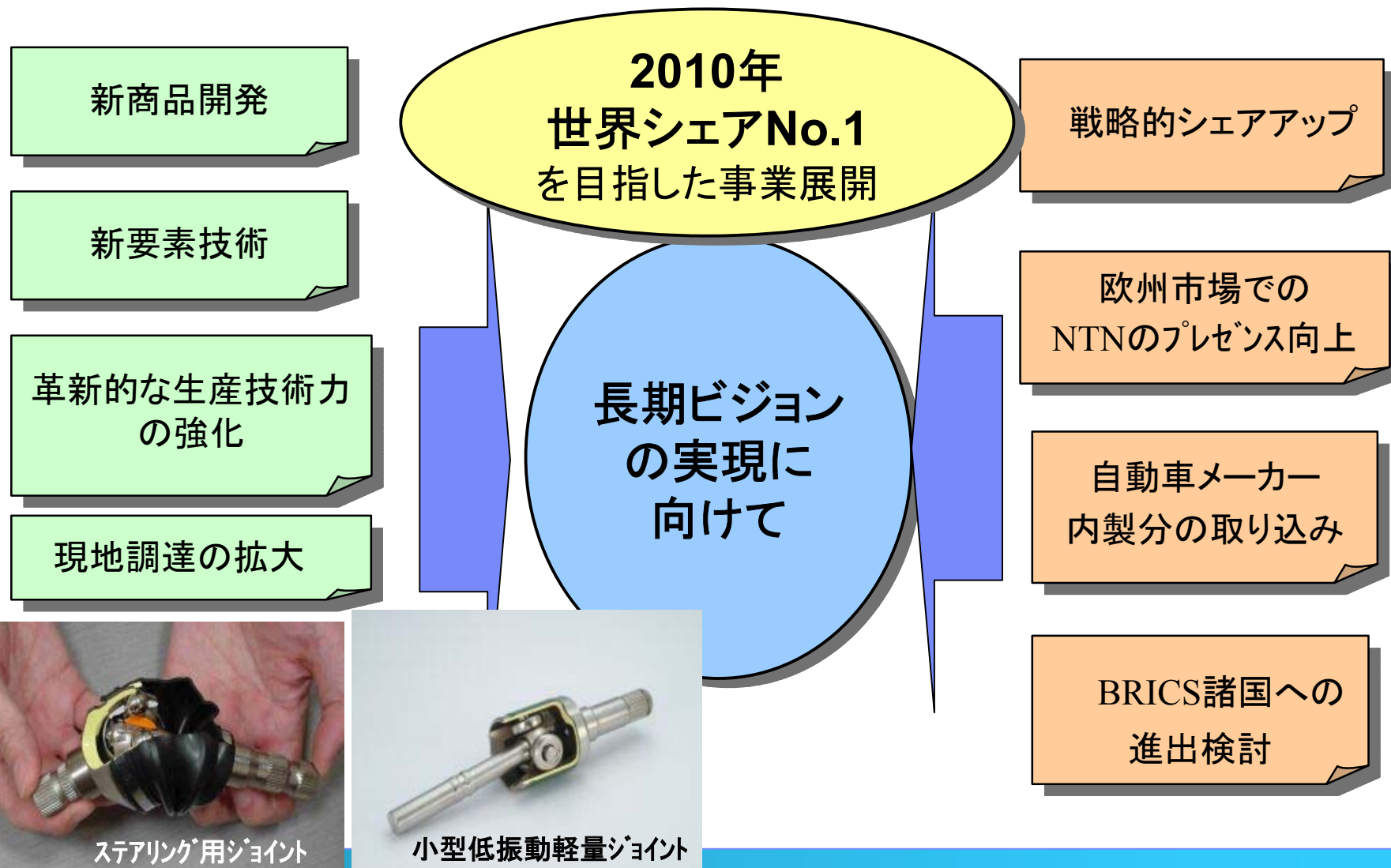
大形軸受



工作機械用精密軸受



3. 部門別戦略(等速ジョイント)



4. 部門別戦略(精密機器商品)

精密機器商品事業

先端技術事業の拡大

世界的な
薄型テレビの需要拡大

- 液晶・PDP分野に注力
- リペア・修正装置市場の成長性大

- ・ 迅速な商品開発
- ・ 販売拡大
(台湾・韓国メーカー向け等)



リブ欠陥修正装置

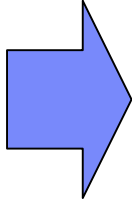


液晶マルチリペア装置

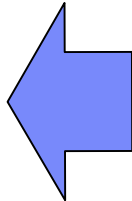
5. 中国戦略

世界の大需要地である中国でのプレゼンス向上

リスク回避を
考慮した
事業展開



独資と合併の融合に
よる戦略的事業展開



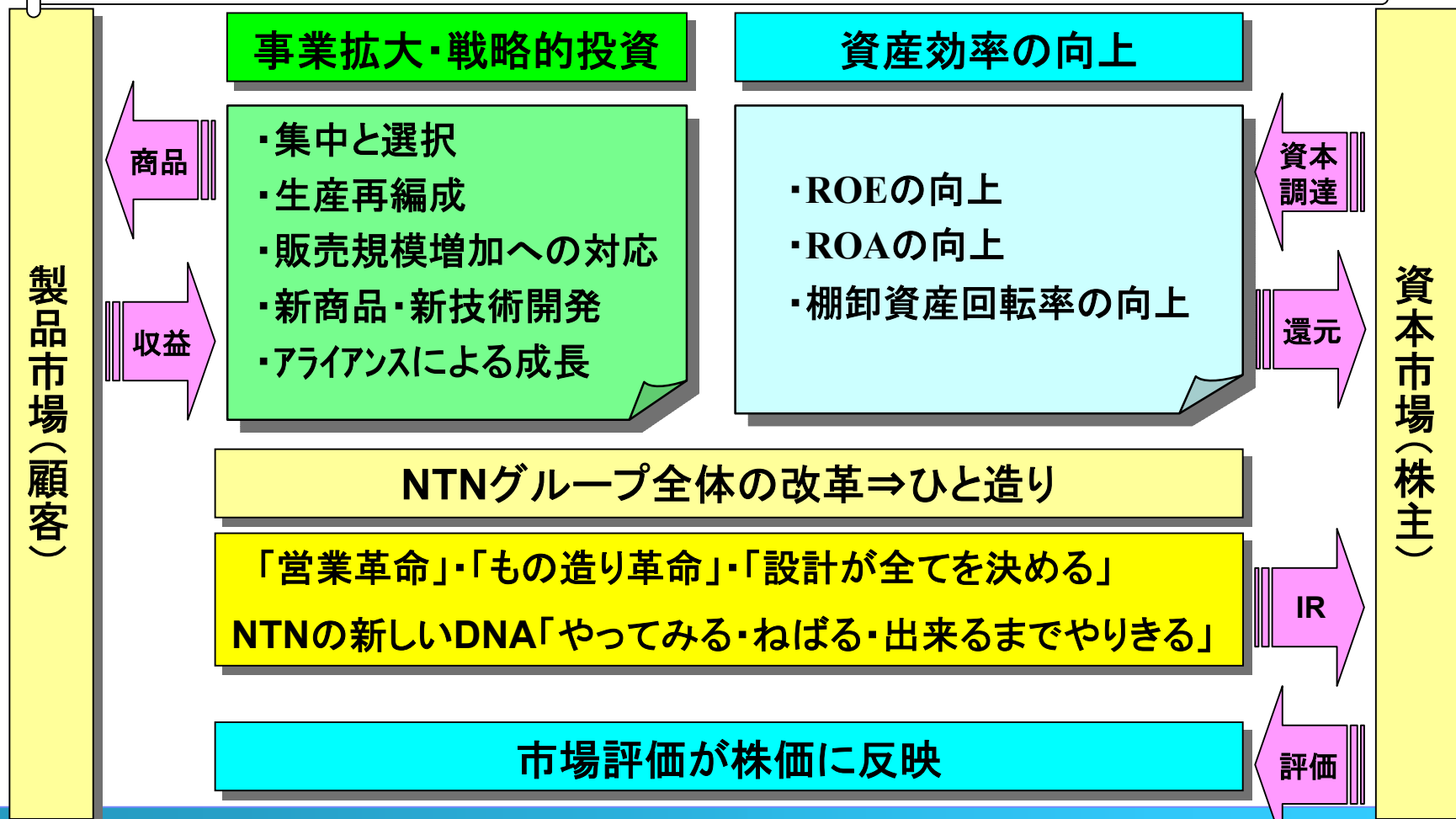
スピードを上げた
事業展開

		独資	合併
軸受	自動車用	上海NTN	常州NTN
	産業機械用	上海NTN	洛陽軸承
	IT用(流体)		NTN日本電産
等速ジョイント		上海NTN	広州NTN、 北京瑞韓NTN



6. 株主価値向上に向けて

諸施策のシナジーにより株主価値の向上、持続的成長を加速



補足資料

戦略商品の売上高見通し推移

(等速ジョイント・アクスルベアリング・ニードルベアリング)

商品	地域	04年3月期 実績	05年3月期 実績	06年3月期 見通し	07年3月期 見通し
等速ジョイント ()内は中国計	日本	451	457	473	475
	北米	291	332	440	520
	欧州	247	265	272	295
	アジア他	41(6)	59(19)	75(28)	75(30)
	合計	1,030	1,113	1,260	1,365
アクスルベアリング ()内は中国計	日本	111	135	152	160
	北米	142	140	153	175
	欧州	19	28	34	35
	アジア他	14(3)	20(8)	21(12)	40(17)
	合計	286	323	361	410
ニードルベアリング	日本	284	288	315	315
	海外	62	98	103	125
	合計	346	386	418	440

為替レート 04/3実績: US\$113円、EURO133円 05/3実績: US\$108円、EURO135円 見通し: US\$105円、EURO130円

We make Bearings.



For New Technology Network

NTN[®]

NTN corporation
<http://www.ntn.co.jp>

©NTN

2005年3月期決算と 2006年3月期見通し(連結)

平成17年5月19日

NTN株式会社

常務取締役 近藤達生

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Ⅱ. 2005年3月期決算と2006年3月期見通し(連結)

1. 経営成績の成果
 - (1) 主な成果と課題
 - (2) 連結損益
2. 売上高
地域別・部門別売上高
3. 営業利益増減説明
 - (1)'05/3月期
 - (2)'06/3月期
4. 所在地別売上高・営業利益(率)
5. 棚卸資産
6. 有利子負債
7. 設備投資・減価償却費
8. キャッシュ・フロー

1.経営成績の成果

(1)主な成果と課題

☆2005年3月期決算の成果

- ・連結営業利益率の改善 8.5%達成(前期 6.9%)
～収益力の向上
- ・総資本利益率(ROA)の改善 ROA 3.4%(前期 2.4%)
- ・株主資本利益率(ROE)の改善 ROE11.1%(前期 8.0%)
～資産効率の向上

☆2006年3月期の課題

- ・企業価値の向上に向けた施策の達成
～増収増益の継続～

1.経営成績の成果

(2)連結損益

単位:億円

	'04年3月期 実績 ①	'05年3月期 実績 ②	'06年3月期 見通し ③	対前期増減	
				'05年3月期	'06年3月期
				②-①	③-②
売上高	3,574	3,883	4,200	310	317
営業利益	247	332	370	85	38
(営業利益率)	(6.9%)	(8.5%)	(8.8%)	(1.6%)	(0.3%)
経常利益	208	284	305	76	21
特別損益	△ 26	△ 18	△ 8	8	10
当期純利益	110	167	190	57	23
為替レート					
US\$	113.2	107.6	105.0	△ 5.6	△ 2.6
EURO	132.7	135.2	130.0	2.5	△ 5.2
ROE	8.0%	11.1%	12.3%	3.1%	1.2%
ROA	2.4%	3.4%	3.8%	1.0%	0.4%
棚卸資産回転率(回)	4.3	4.2	4.8	-0.1	0.6

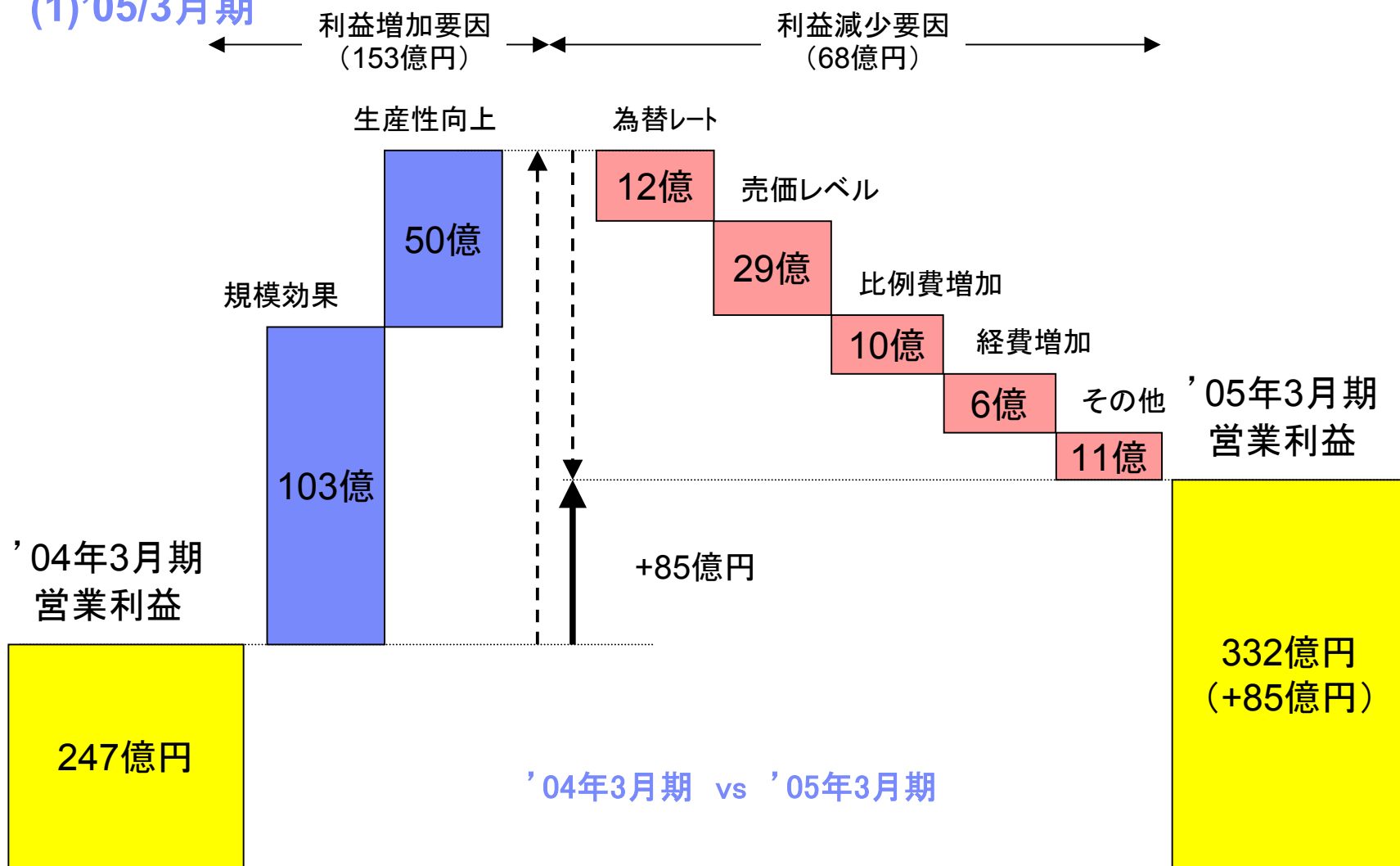
2.売上高

地域別・部門別売上高

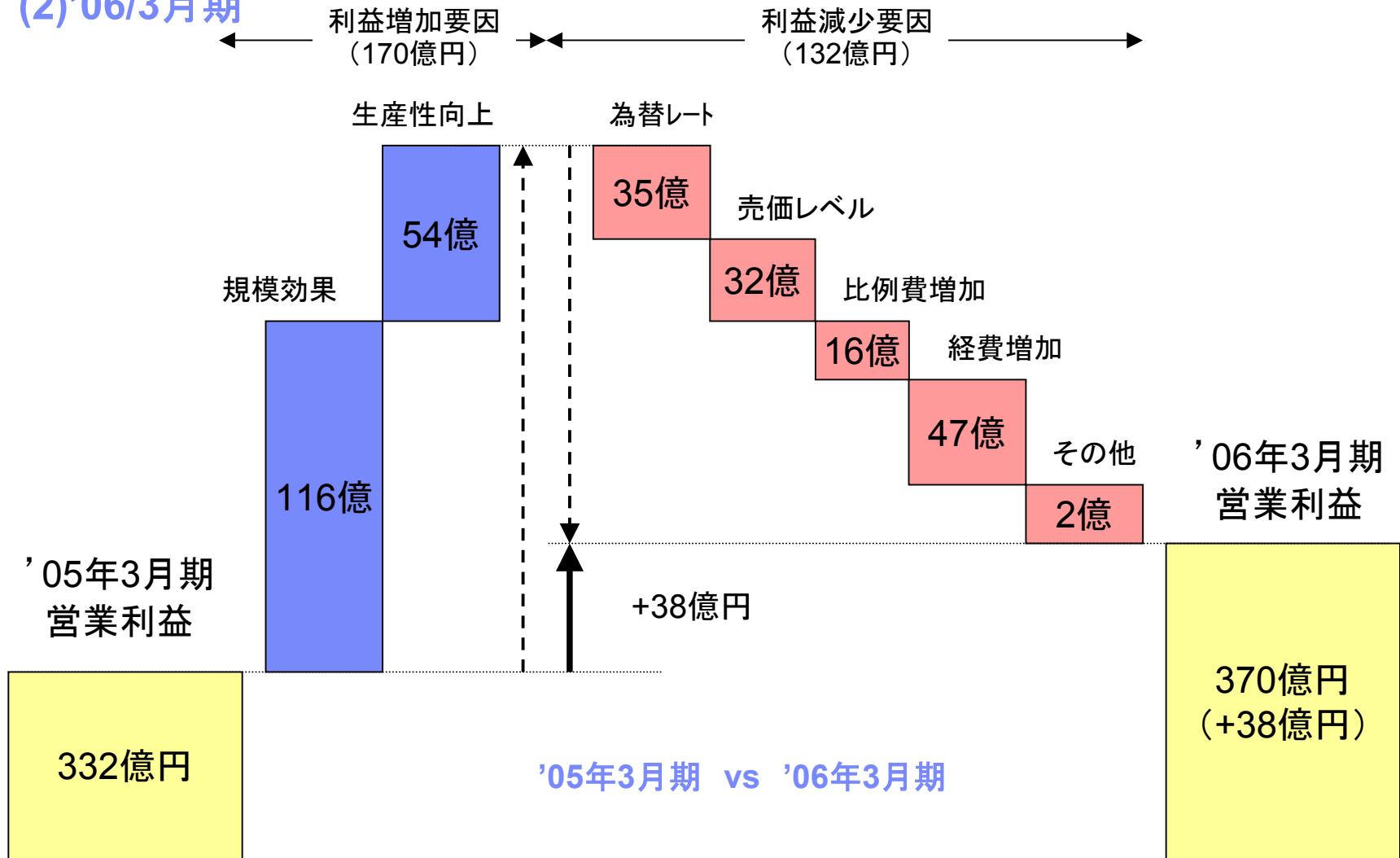
単位: 億円

		'04年3月期 実績 ①	'05年3月期 実績 ②	'06年3月期 見通し ③	対前期増減			
					'05年3月期②-①		'06年3月期③-②	
					量	為替	量	為替
日 本	軸 受	1,091	1,199	1,283	108	0	84	0
	等 速シ`ョイント	451	457	473	6	0	16	0
	精密機器商品等	221	244	239	24	0	△5	0
	合 計	1,762	1,900	1,995	138	0	95	0
北 米	軸 受	563	578	600	41	△26	40	△18
	等 速シ`ョイント	291	332	440	58	△17	119	△11
	精密機器商品等	6	10	10	4	△1	1	△1
	合 計	861	920	1,050	103	△44	160	△30
欧 州	軸 受	312	342	376	23	7	51	△17
	等 速シ`ョイント	247	265	272	14	5	18	△11
	精密機器商品等	24	18	17	△6	0	△1	0
	合 計	582	626	665	31	12	67	△28
ア ジ ア 他	軸 受	320	369	401	59	△11	55	△23
	等 速シ`ョイント	41	59	75	19	△2	20	△4
	精密機器商品等	8	10	14	3	△0	5	△1
	合 計	369	437	490	81	△13	81	△28
合 計	軸 受	2,286	2,488	2,660	231	△29	230	△58
	等 速シ`ョイント	1,030	1,113	1,260	98	△14	173	△26
	精密機器商品等	258	282	280	25	△1	△0	△2
	合 計	3,574	3,883	4,200	353	△44	403	△86

3. 営業利益増減説明 (1)'05/3月期



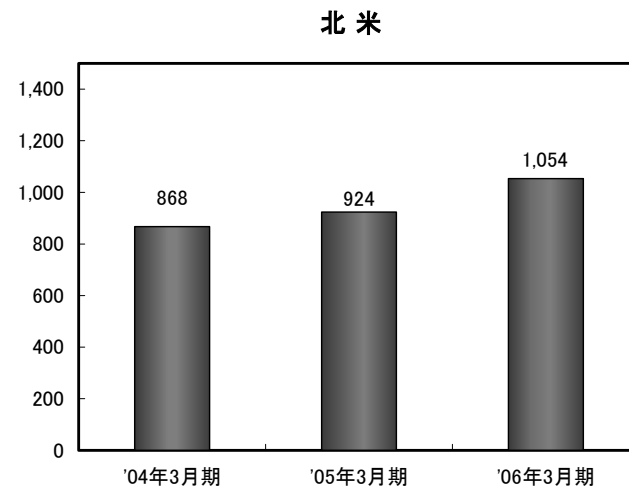
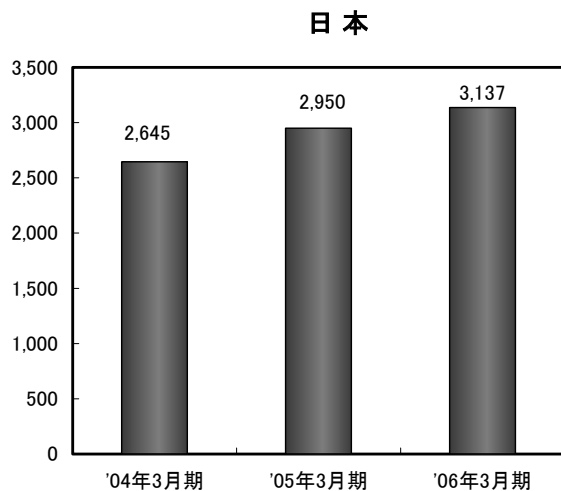
3. 営業利益増減説明 (2)'06/3月期



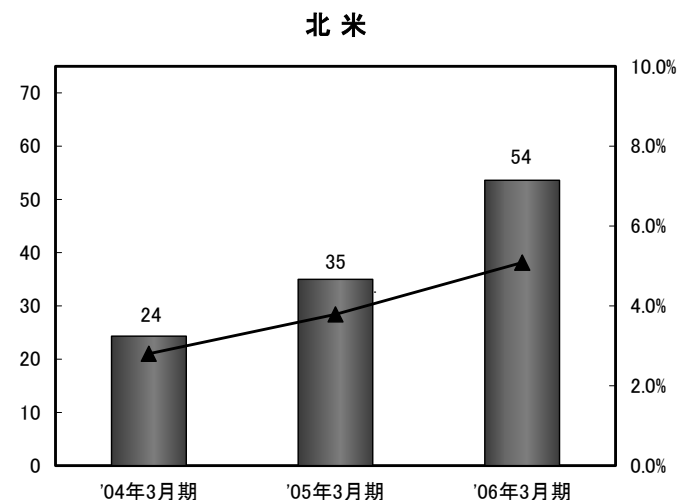
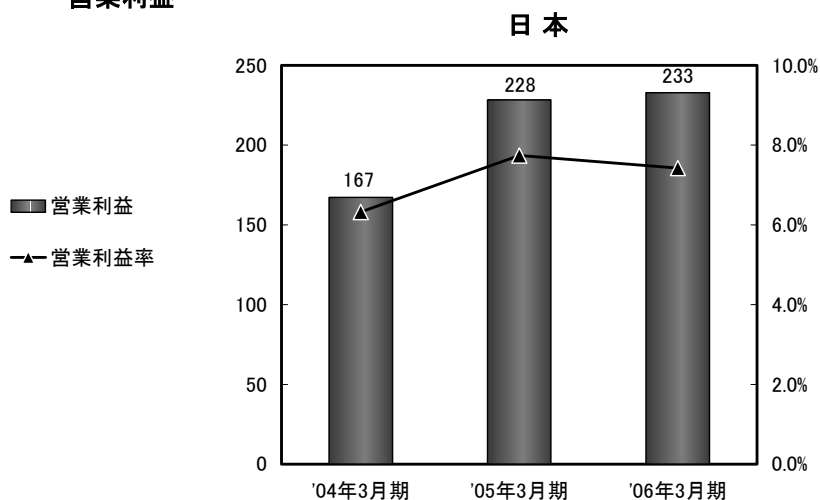
4. 所在地別 売上高・営業利益(率)

単位:億円

・売上高



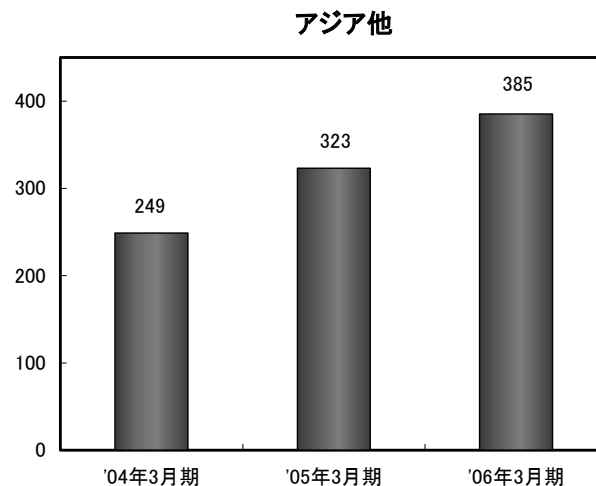
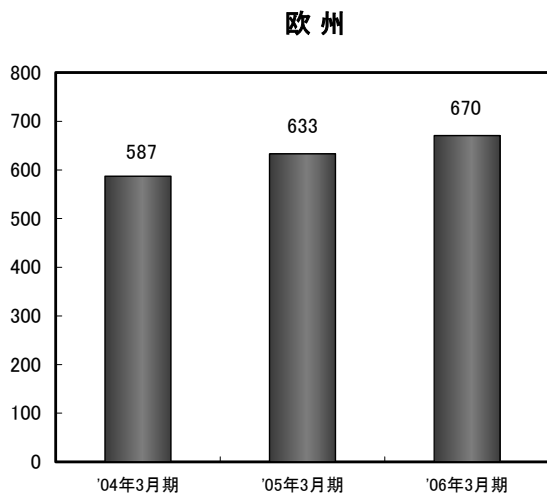
・営業利益



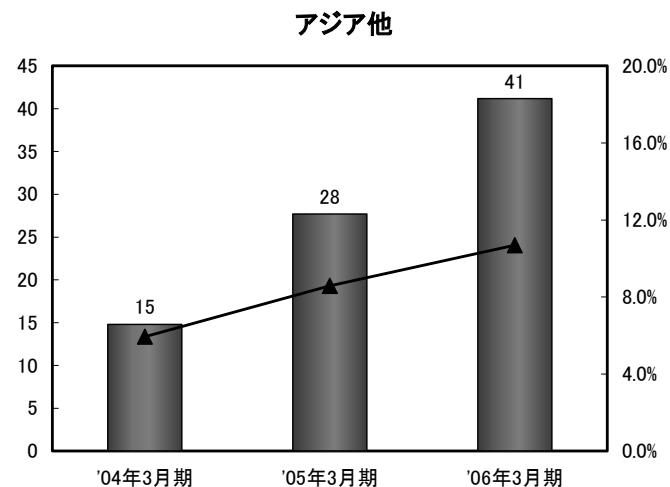
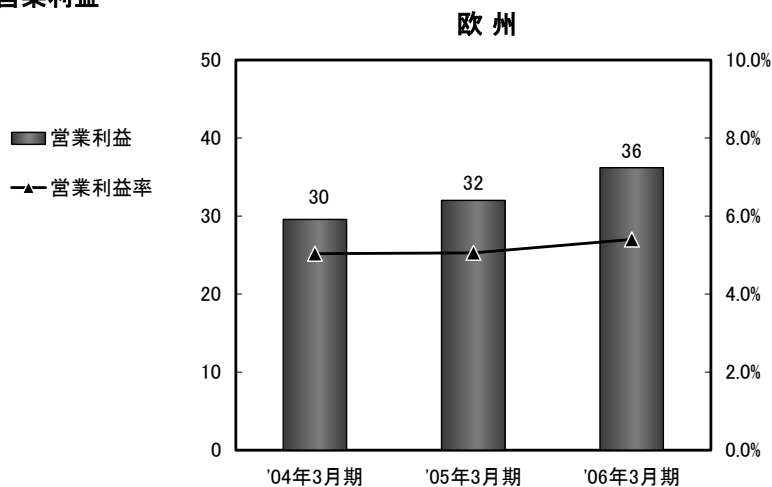
4. 所在地別 売上高・営業利益(率)

単位: 億円

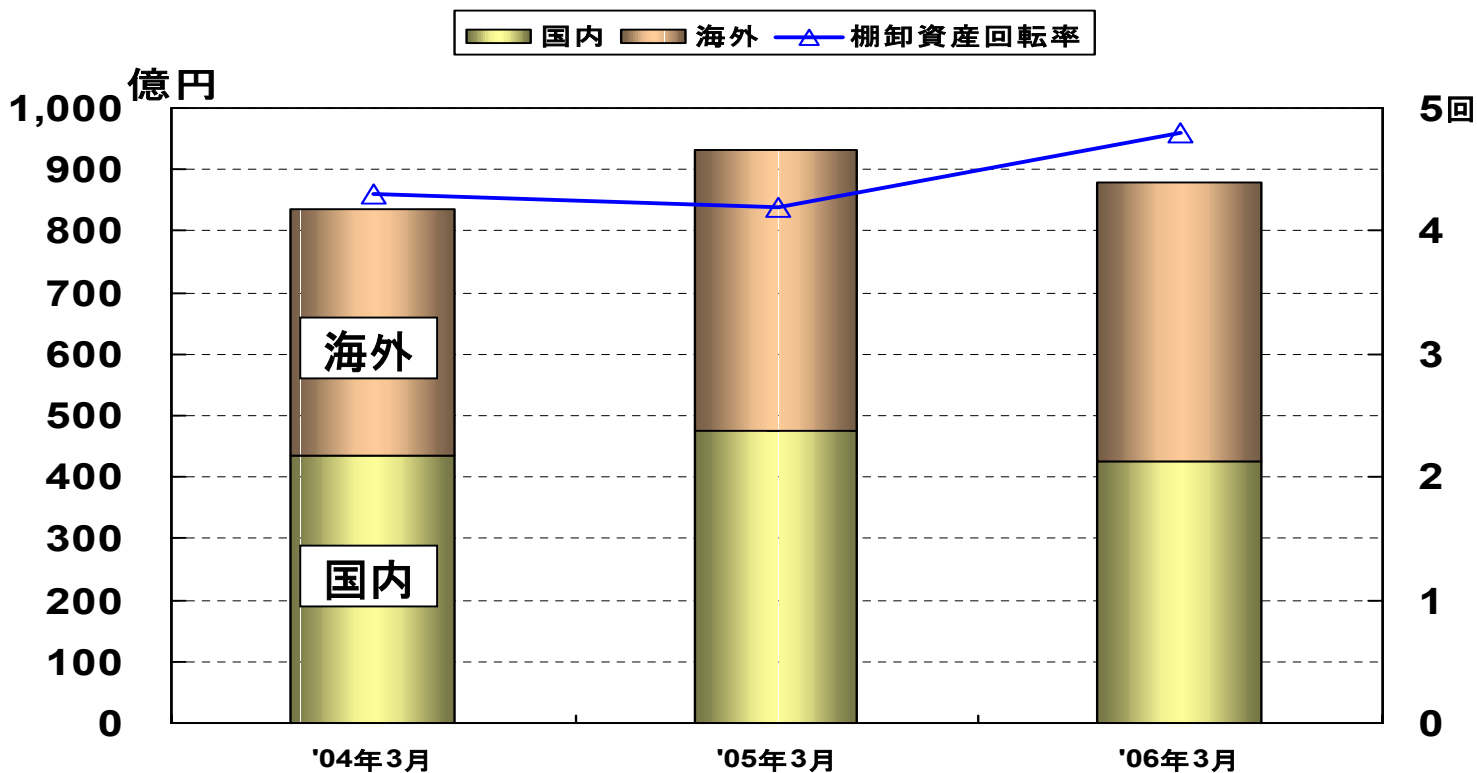
・売上高



・営業利益



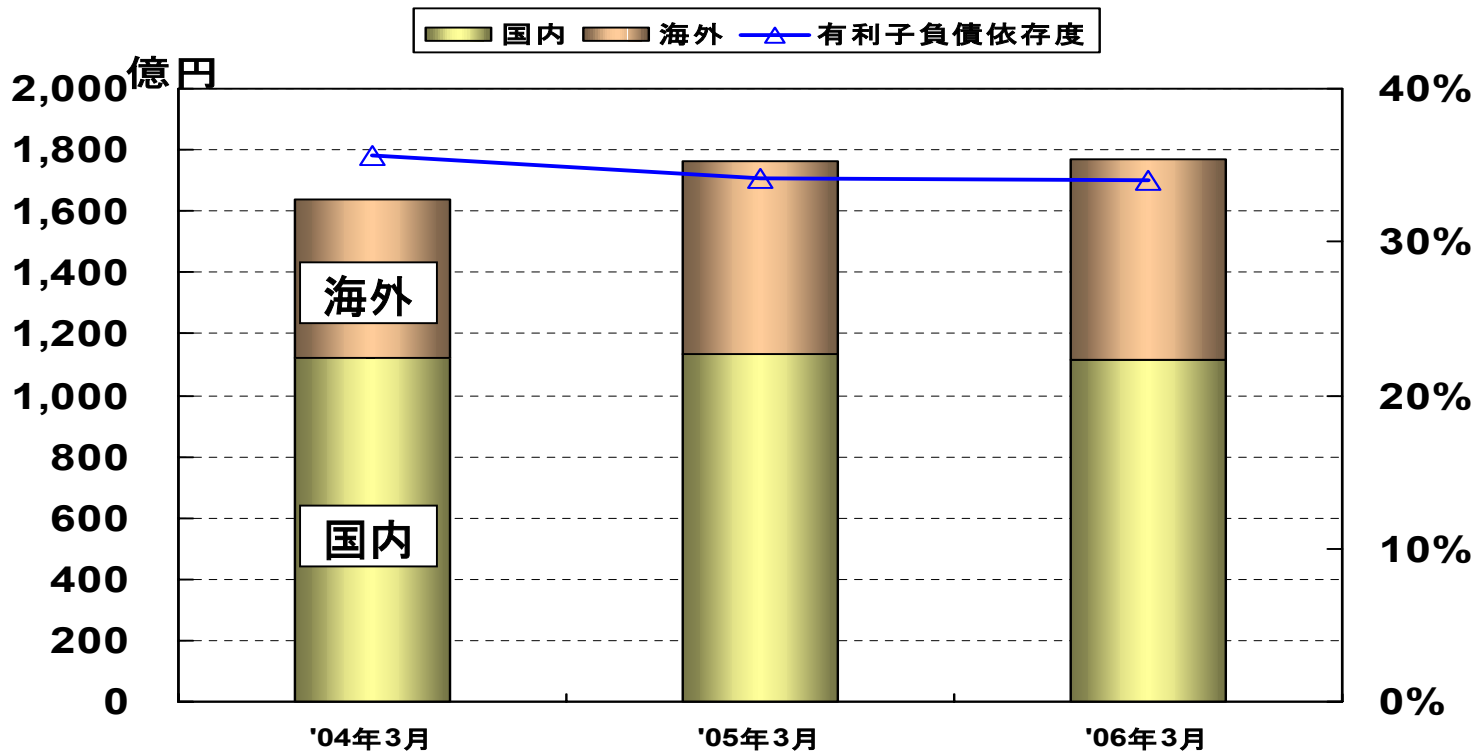
5.棚卸資産



(単位: 億円)

	'04年3月 実績	'05年3月 実績	'06年3月 見通し
棚卸資産	836	932	880
(国内)	(434)	(474)	(425)
(海外)	(402)	(458)	(455)
棚卸資産回転率	4.3回	4.2回	4.8回

6.有利子負債



(単位:億円)

	'04年3月 実績	'05年3月 実績	'06年3月 見通し
有利子負債	1,641	1,762	1,770
(国内)	(1,123)	(1,131)	(1,116)
(海外)	(518)	(631)	(654)
有利子負債依存度	35.6%	34.1%	34.0%

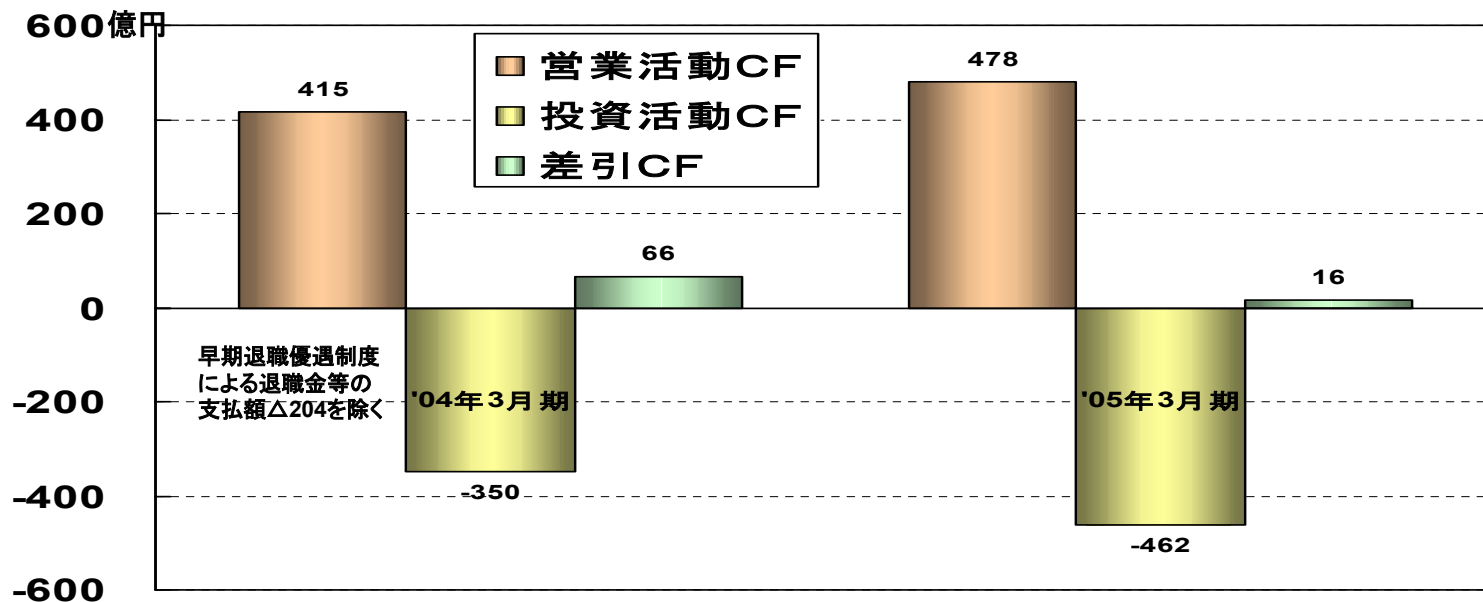
7.設備投資・減価償却費

単位：億円

	'04年3月期 実績	'05年3月期 実績 ①	'06年3月期 見通し ②	対前期増減 ②－①
設備投資	381	497	420	△ 77
(国内)	(176)	(262)	(241)	(△ 21)
(海外)	(205)	(235)	(179)	(△ 56)

	'04年3月期 実績	'05年3月期 実績 ①	'06年3月期 見通し ②	対前期増減 ②－①
減価償却費	240	249	289	40
(国内)	(148)	(155)	(177)	(22)
(海外)	(92)	(94)	(112)	(18)

8. キャッシュ・フロー



(単位: 億円)

	'04年3月期 実績	'05年3月期 実績
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	211	478
早期退職優遇制度による退職金等の支払額	△ 204	0
上記影響を除く	415	478
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 350	△ 462
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	60	67
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	6
V. 現金及び現金同等物の増加額	△ 81	89